

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成24年3月29日

| | | | | | | | | |
|---------|--------------|---|------------------------------|--------|-----------|-------|------|-------|
| ① | 研究テーマ | 条件不利地域における海洋空間利用による空間拡張方策に関する調査研究 | | | | | | |
| ② | 目的 | <p>自然的、地理的、社会的条件により条件不利地域とされる離島や半島、漁村などでは、条件不利を克服するための各種振興策が図られてきている。しかしながら、人間生活を取り巻く物理的な空間的条件としての可住地や土地に対する対策は必ずしも十分ではなく、限られた空間の中で、過密な状況が生み出されていたり、津波や高潮などに曝される場の活用を強いられている場合も多い。一方、埋立てによる空間拡張は周辺海域の生態環境を攪乱したり、制約条件も多く、土砂採取に伴う二次的環境問題など、懸念材料も多々ある。そのため、新たな空間拡張技術の必要性が高まっている。こうした状況の中で、移動性、可動(変)性、施工性、環境性能などの面から、海洋建築的空間創出技術に着目し、技術的な優位性や課題・問題の抽出整理及び新技術の可能性について考究することを目的とする。</p> | | | | | | |
| ③ | 活動内容 | <p>本研究は、条件不利地域の中で特に離島や過密化する臨海都市を対象として、海洋空間利用による空間拡張方策のあり方を検討する。そのため、わが国の沿岸域に立地する海洋建築物や空間創出構造物を対象として、特徴的な取り組み（コンセプト・建設方法・経緯）事例を抽出整理する。また、近年、韓国や中国などアジア諸国の沿岸都市では、過密化する都市空間において、空間拡張方策として、公共施設の浮体式構造による海上立地が具体化されてきているため、こうした諸外国の状況についても合わせて整理・分析する。調査は、研究グループ構成員による、フィールドワーク及び関係者に対するヒアリングを中心に実施する。</p> | | | | | | |
| ④ | グループの構成 | 氏名 | 会・非 | 専門分野 | 所属・役職 | 住所 | 電話番号 | FAX番号 |
| グループの構成 | 世話人 | 畔柳昭雄 | 会 | 海洋建築工学 | 日本大学・教授 | | | |
| | グループ構成員 | 小林昭男 | 会 | 海洋建築工学 | 日本大学・教授 | | | |
| | | 堀田健治 | 会 | 海洋環境工学 | 日本大学・特任教授 | | | |
| | | 宮崎 均 | 会 | 建築計画 | 前橋工科大学・教授 | | | |
| | | 坪井壺太郎 | 非 | 環境防災工学 | 日本大学・助教 | | | |
| ⑤ | 日程表 | 研究期間 | 平成24年6月～平成26年3月 | | 開催頻度 | 年4回程度 | | |
| | | 開催場所 | 研究会は日本大学(駿河台校舎または船橋校舎)で随時実施。 | | ⑥ 研究運営費 | | | |

※②は必要性及び期待される事項についてもご記入下さい。③は研究方法・手段について具体的にご記入下さい。④はグループの構成員総てについてご記入下さい。「会・非」については、会員・非会員の区別をご記入下さい。また、公募を希望する場合は、公募も含めた合計人数をご記入下さい。⑥は希望額（60万円以下）をご記入下さい。

以下は記入しないで下さい。

| | | | | | | | |
|-----|----|---|---|---|-------|---|----|
| 受付日 | 平成 | 年 | 月 | 日 | 研究モード | - | 備考 |
|-----|----|---|---|---|-------|---|----|